

総合評価結果報告書

施設の名称	静岡市清水松風荘		
課名	高齢者福祉課		
指定管理者名	(福) 清承会		
指定期間	平成30年4月1日 ～ 令和3年3月31日		
評価委員会 開催年月日	令和2年7月28日(火)		
評価委員	①委員長 大畑 綾子 (高齢者福祉課長) ②委員 村松 正博 (参与兼福祉総務課長) ③ " 繁田 昌宏 (介護保険課長) ④ " 石原 幸子 (介護相談員) ⑤ " 亀澤 義高 (葵区民生委員児童委員協議会会長)		
評価点 (各委員平均点)	83.4点	評価	A・ B ・C・D・E
評価結果詳細	別紙「総合評価結果総括表」のとおり		
総合評価結果を踏まえての施設所管課としての意見	<p>人員配置が厚く、職員の研修についても専門性を意識して計画的に実施している。</p> <p>感染症発生時の業務継続計画を充実させ、また、火災や津波に対する防災訓練を夜間に実施するなど、危機管理意識の高さが感じられる。</p> <p>S型デイサービスや実習生の受け入れなどをおして活発に地域交流が行われている。</p> <p>入所生活に関するアンケート調査の結果を分析し、改善を重ねる取り組みがみられ、翌年度調査において満足度が向上する等、入所生活をより良いものとするための努力が感じられる。また、入所者に対し、積極的にアプローチし相談を受け付け、即日対応を心がけている点が評価できる。</p>		

総合評価結果総括表

施設の名 称 [静岡市清水松風荘]

課 名 [高齢者福祉課]

指定管理者名 [(福)清承会]

	A 評価 委員	B 評価 委員	C 評価 委員	D 評価 委員	E 評価 委員	平均 点
1 履行状況の確認	【配点50点】					
(ア) 事業の円滑な実施 (15点)	15	12	12	9	15	12.6
(イ) 適正な人員配置 (10点)	10	10	8	8	10	9.2
(ウ) 安心・安全を最優先した施設の維持管理 (15点)	15	12	15	12	12	13.2
(エ) 庶務事務 (10点)	10	8	6	8	10	8.4
小 計	50	42	41	37	47	43.4
2 指定管理者の創意工夫	【配点15点】					
(ア) 指定管理者による事業の提案と実施 (15点)	12	12	12	9	12	11.4
小 計	12	12	12	9	12	11.4
3 市民（利用者）のサービスの向上	【配点15点】					
(ア) 利用者の満足度調査が実施されている。 (5点)	4	5	5	4	5	4.6
(イ) 利用者満足の向上に努めている。(5点)	4	4	4	3	5	4.0
(ウ) 利用者等からの要望、苦情への対応がされて いる。(5点)	4	4	4	3	5	4.0
小 計	12	13	13	10	15	12.6
4 施設固有の評価項目	【配点20点】					
(ア) 措置施設として、福祉事務所との連携が確立 している。(10点)	6	10	6	8	10	8.0
(イ) 居住施設として、入所者との関係を適切に保 っている。(10点)	8	8	6	8	10	8.0
小 計	14	18	12	16	20	16.0
合 計	88	85	78	72	94	83.4

※ 平均点は小数点以下第2位を四捨五入する。

各評価委員の所見のまとめ（※各評価委員の所見をそのまま記載してください。）

【A評価委員】

人員配置が厚く、職員の研修についても専門性を意識して計画的に実施している。
防災訓練については、内容や時間帯などいろいろな場合を想定し、実践的に行っているのが良い。
S型デイサービスの会場として利用させたり、地域を巻き込んでイベントを開催することで利用者と地域住民との交流を図り、利用者よりアンケート結果で好評を得ている。
「職員の接遇について」と「外出の頻度について」で、平成30年から令和元年までの調査において改善が見られているのは努力の結果だと思われる。

【B評価委員】

地域交流室の開放、積極的なボランティアの受入を行っている。
さらに区福祉事務所との連携に努めてほしい。

【C評価委員】

感染症発生時の業務継続計画を充実させ、また、火災や津波に対する防災訓練を夜間に実施するなど、危機管理意識の高さが感じられる。

【D評価委員】

満足度調査の内容に偏りがあるのか、又は本心が言えてないのか気になる。
自立することへの不安は大きいように思うが、アンケートからは読み取れない。

【E評価委員】

利用者の方に対して積極的に相談を受け、特に即日対応を心がけている事は良いと思います。
措置入所者の方への対応は大変なこととされますので、処遇会議を年1回ではなく、もう少し増やしていただければと思いました。

評価委員会としての意見

人員配置が厚く、職員の研修についても専門性を意識して計画的に実施している。
感染症発生時の業務継続計画を充実させ、また、火災や津波に対する防災訓練を夜間に実施するなど、危機管理意識の高さが感じられる。
S型デイサービスや実習生の受け入れなどをとおして活発に地域交流が行われている。
入所生活に関するアンケート調査の結果を分析し、改善を重ねる取り組みがみられ、翌年度調査において満足度が向上する等、入所生活をより良いものとするための努力が感じられる。また、入所者に対し、積極的にアプローチし相談を受け付け、即日対応を心がけている点が評価できる。